

VIII. 管理運営

1. 法人組織の管理運営体制

(1) 各委員会

1) 学園関連委員会

a. 短期大学（部）学長会議

- ・ 目的 本会議は、学校法人東海大学組織及び業務分掌規程第7条第2項に基づき設置され、事業報告及び学園基本方針に則った各短大の計画について審議する場となっている。
- ・ 委員構成 学長会議は、総長（理事長）が議長を務め、副理事長、各短期大学（部）学長、学長補佐、学務局担当理事、事務局担当理事、高等教育部長、総務部長、その他総長が必要と認める教職員をもって組織している。

b. 短期大学（部）事務室長会議

- ・ 目的 学長会議の円滑な会議運営のため、事前調整と課題提出などの役割を担っている。
- ・ 委員構成 議長は、学務局担当理事が務め、各短期大学（部）事務室長、及び法人本部の高等教育部長及び高等教育課長、その他学務局担当理事が必要と認める教職員をもって組織している。

c. 総合研究機構運営委員会

- ・ 目的 『学校法人東海大学総合研究機構基本理念』に基づき、総合研究機構運営委員会を設け、研究活動を推進するために定めた事項を審議する。
- ・ 委員構成 委員長は総長とし、委員は理事、大学・短期大学（部）の学長及び研究部門の総括責任者とする。

d. 一貫教育委員会

- ・ 目的 学校法人が設置している幼稚園から大学院までの教育の一貫性と融合性の推進を目的として、様々な方法論等を検討、協議し、実践するための企画を立案するために設置された委員会である。この委員会は第一部会から第四部会に分かれ、それぞれのテーマを協議、検討を行っている。
- ・ 委員構成 総長が委嘱する次の委員等をもって構成する。
 - 委員長 総長が任命する理事とし、委員会を総括する。
 - 副委員長 委員長が指名する者とし、委員長を補佐する。
 - 事務局 委員長が指名する者若干名で構成し、委員会および運営委員会の司会進行を行う。
 - 専門部会長 委員長が指名する者とし、各専門部会を総括し運営する。また、必要に応じて副部会長を置くことができる。副部会長は部会長を補佐する。
 - 専門委員 高等教育機関及び初等中等教育機関より委員長が指名する者若干名とし、各専門部会の研究テーマに基づいて審議・研究活動を行う。
(高等教育機関より38名、初等中等教育機関より33名が指名された。)

・ 研究目標（各部会のテーマ）

(1) 『第一部会』【研究目標】一貫教育の連携をより深化させる取り組み

(研究内容)：これまで長年にわたり研究し構築してきた「建学の精神」「教育の指針」を基盤に、明日の新しい時代の具体的な一貫教育の連携は如何にあるべきか。実際に各教育機関で行われている様々な取り組みを検証しつつ、より連携を深めスケールメリットを活かした教育力を高めることをめざす。例えば、留学生や社会人を含めた教育や研究のあり方、あるいは感動体験や世代間交流の推進などの中で、一貫教育で育った生徒・学生がリーダーシップを取れるような、学園の特色をより鮮明にするプランを検討する。

(2) 『第二部会』【研究目標】理工系教育の振興をめざす取り組み

(研究内容)：園児・児童・生徒・学生の「理科好き」を増やし、東海大学の源流とも言うべき理工系分野を活性化させるためには何をなすべきか。初等中等教育機関においては、講義中心の授業から、実験（実習）を中心に据えた授業への転換を図り、魅力的で楽しい授業を通して、理工系進学をめざす生徒を育成する。高等教育機関においては理工系学生が、多様化した社会に果

敢に対応し得る人材となるべく、その育成に努める。

また、暮らしの中の「理科・数学的現象の発見」など身近で日常的な視点を養うことや、理論と体験を一体化した授業が出来る教員の養成をめざす。

(3) 『第三部会』【研究目標】文化・スポーツを通して社会教育の推進を図る取り組み

(研究内容)：学園の各教育機関における文化的教養を高め、スポーツの振興を通して学園の活性化を図る。

例えば、文化・スポーツが医療・看護等と今後どのような連携をすれば、学園の文化力・スポーツ力を高めていくことが出来るか。また文化・スポーツによる地域社会との連携や社会貢献・国際貢献は如何にあるべきか。そのための企画・運営や指導者の資質向上と育成はどうあるべきか。さらに学園内の文化・スポーツ活動への応援・サポート体制の確立と推進のあり方はどうあるべきかなど、さまざまな視点から文化とスポーツの振興をめざす。

(4) 『第四部会』【研究目標】新しく確かな女子教育をめざす取り組み

(研究内容)：各教育機関においてめざましい活躍をする女性の園児・児童・生徒・学生・教員が、持ち得る可能性をさらに高めるプランを検討する。例えば、①女子研究者の育成 ②女子スポーツの振興 ③女子生徒・学生の指導のあり方 等、具体的なテーマを設けて検討する。

学園の女子生徒・学生の女子力の底上げを図り、学園はもとより社会において牽引力のある女性の育成をめざす。

日常生活や教育活動をはじめ、文化・スポーツ・ボランティア等、広く活躍できる女子教育は如何にあるべきか。女性の視点を重視しながら新しく確かなプランを検討する。

e. 現代文明論連絡調整会議

- ・ 目 的 本会議は、学校法人東海大学が設置する各大学・短期大学（部）・初等中等教育機関で実施する「現代文明論」が、法人の教育方針に沿った学園全体の統一性、整合性を維持するための講義計画案や方法論等を協議することを目的とする。

・ 委員構成

委員長 蟹江秀明学務局担当理事

委員 橋本敏明高等教育部長（法人）、加藤泰（東海大学総合教育センター）、
山本康治（短期大学部）、新村直子（医療技術短期大学）、伊津信之介（福岡短期大学）
中村武徳初等中等教育課次長（法人）、難波克彰（現代文明論研究センター）

事務局 小早川眞高等教育課長、相澤祐子（法人）

f. 短期大学（部）入試企画委員会

- ・ 目 的 入試の基本計画に関する事項、短大（校舎）の入試の調整に関する事項、その他本委員会において必要と認める事項について審議することを目的とする。

・ 委員構成

委員長 蟹江秀明学務局担当理事

副委員長 橋本敏明高等教育部長（法人）

委員 入試問題作成委員長 柴田正憲（高輪教養教育センター）、
辻昭事務室長（短期大学部）、櫻井和好事務室長（医療技術短期大学）、
秋山英二事務室長（福岡短期大学）、
小早川眞高等教育課長（法人）

事務局 相澤祐子（法人）

2) その他の学務管理

上記以外の学務運営に関しては、法人高等教育部を窓口にして相談し、本学の管理運営を行っている。

2. 本学内の管理運営体制

(1) 学内委員会

1) 教授会

- ・目的 本会議は、本学の教育及び研究に関する事項、学生の学籍異動に関する事項、教務及び学生に関する事項、学長の諮問に関する事項、その他必要と認められた事項について審議及び報告すること。
- ・委員構成
議長 西野 仁 学長
委員 専任教員全員、秋山英二（事務室長）

2) 大学改革会議

- ・目的 本会議は、学長の諮問機関として、本学の教育・研究及び経営に関する事項等を協議し、本学が健全に学校運営を行うことを目的とする。
- ・委員構成
議長 西野 仁 学長
委員 真下 仁、矢原充敏、秋山英二（事務室長）

3) 企画調整会議

- ・目的 本委員会は、学長の諮問機関として、本学における教授会への審議事項及び報告事項等を協議し、学校運営に関する諸事項の円滑な実施運営を図ることを目的とする。
- ・委員構成
委員長 西野 仁 学長
委員 真下 仁、宮内 順、矢原充敏、八尋剛規、秋山英二、森田博文、香月康則、山本真由美
- ・内容 将来構想に関する事項、予・決算に関する事項、教職員人事に関する事項、各種委員会の集約、広報活動に関する事項、短大学長会議及び短大事務室長会議に関する事項、学務に関する事項、大学評価に関する事項などについて調整する中枢機関として、各委員会からの答申に基づいて審議した。
- ・今後の課題 本会議の管理下に学内運営会議としての学科連絡会・国際交流委員会・FD委員会、現代文明論委員会、メディア情報センター運営会議及び学内各種委員会としての広報・入試委員会、教学委員会、進路委員会、人権啓発委員会、セクシャルハラスメント人権委員会、危機対策委員会、安全衛生委員会の組織、その他本学の運営に必要な事項に関して審議事項とした。各委員会では、本委員会への提案事項を審議する場であり、教授会審議事項の最終調整機関としての役割を大学改革会議に明確化させたことによることが今後の課題となった。

4) 大学評価委員会

- ・目的 本委員会は、学長の諮問機関として、本学における教育と研究及び組織と管理運営の質的向上を図るため、必要な事項の審議と点検及び評価活動を行い、学長に答申することを目的とする。
- ・委員構成
委員長 真下 仁
委員 貝田翔二、赤井ひさ子、竹内裕二、宮川幹平、秋山英二、森田博文
- ・内容 2009 年度に行われた短大基準協会による第三者評価では、適格認定の評価を得た。次回の第三者評価でも適格認定を受けるための方策を審議するとともに、各委員会に関連する事項についての提言を行った。
また、教育研究年報（自己点検・評価報告書）の作成を担当するとともに、東海大学短期大学（部）紀要では当番校（2 年目）になっており、第 44 号の発刊に向け、昨年導入したテンプレートや書き方内規の改善について、作業を綿密に行った。
- ・今後の課題 第三者評価では、適格認定の評価を得たが、領域別の評価では課題と改善を要する事項も挙げられており、管理運営・財務についての調整を図っていくことが重要である。また、東海大学短期大学（部）紀要では、各校舎での形式審査を重視し、昨年よりも当番校とし

5) 学科連絡会

- ・目的 各学科において、指導教員として把握している学生の現状報告、カリキュラムや履修・成績における問題提起・解決策など、教育運営に関わる一切の事項を検討すること。
 - ・委員構成
委員長 各学科主任（情報：矢原充敏、国際：真下 仁）
委員 各学科専任教員、香月康則（国際）、森田博文（情報）
 - ・内容 まず、指導教員より問題のある学生を報告、その対処方法などを検討した。また、教員間で持ち合わせている情報の共有化を推進するとともに、各委員会へ提言する内容なども検討した。
 - ・今後の課題 各学科で同一課題を検討した際に、検討結果を調整して各委員会や企画調整会議に提言している。カリキュラムなど学科の特色を出すための検討も今後必要である。
- ての負担も減少したが、投稿者へ書き方内規の周知徹底が浸透していないため、投稿依頼の際の文書の改善を行うことが今後の課題となった。

6) 国際交流委員会

- ・目的 本委員会は本学における国際交流に関する諸事項の円滑かつ有効な実施運営を計ることを目的とする。
- ・委員構成
委員長 宮内 順
委員 吉岡メリー、伊原奉賢、神山高行、末松泰子、チョウアンナ、西村真紀子
- ・内容 主に次の内容を協議することとなっている。
 - (1) 学術交流協定の新規締結・更新・廃止他の計画に関する事項
 - (2) 学生・研究者・教職員の海外派遣に関する事項
 - (3) 留学生・外国人研究者の受入れ・支援に関する事項
 - (4) その他本委員会において必要と認めた事項
- ・今後の課題 正式には 2009 年度から設置された委員会であるが、随時開催であったため、ハワイ・韓国・中国短期留学と韓国交換留学（協定）の内容が中心であった。今後は定例会議として、幅広い交際交流活動を推進していくことが今後の課題となった。

7) FD委員会

- ・目的 本委員会は本学における授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修・研究の実施及び活動支援を目的とする。
- ・委員構成
委員長 八尋剛規
委員 神山高行、徳永克美、大方優子、香月康則
- ・内容 FD研究会の開催やリアルタイム授業評価の活用促進と教育の活性化、教員による授業参観（教員相互評価）を柱とした。また、特別研究費の申請内容の検討も行った。
- ・今後の課題 リアルタイム授業評価及び授業参観については、今後も活用促進や参観科目数増加を求めていかなければならない。また、FD研究会の内容を充実するための検討が必要である。

8) 現代文明論委員会

- ・目的 学長の諮問により、本学における現代文明論の実施運営に関する事項を審議することを目的とする。
- ・委員構成
委員長 伊津信之介
委員 神山高行、末松泰子、北濱幹士、森田博文
- ・内容 「現代文明論」は、東海大学の建学の精神及び教育の理念の下に展開される全学共通の必修科目である。本学における「現代文明論 I」及び「現代文明論 II」は、こうした創立者の思想や教育理念を継承し、その生き方に学びながら、東海大学が建学の精神の一つとして掲げている「若き日に汝の思想を培え」を学生自らが各講義を通じて理解し具現化することを目標に展開するものである。

2010年度の現代文明論では、「若き日に汝の思想を培え」の具現化と共に、それを支える能力として「聞く」・「書く」・「編む」・「発言する」力を培う訓練を、レポート作成と討論を通して行ってゆくことに一層の力を注いだ。「聞く」・「書く」・「編む」力が「思想を培う」こと、それを発表する力の育成を現代文明論の伏線に位置づけた。

- ・今後の課題 レポートにおける文章表現力の低い者、さらには集中力が維持できない者などが増加傾向にあり、ガイダンスの充実やレポート作成のためのノート記述、要点の把握方法などの指導が重要になってきた。レポート評価の中間発表を行い、より良いレポート作成へ向けた意欲高揚を計る事が重要である。今後このプロセスの改善を進めていきたい。

2008年度にフラッシュ WEB 教材プログラムを学内補助金を得て開発し、全ての授業の教材を作成している。フラッシュ WEB 教材コンテンツを活用し、理由の明確な欠席者やレポート作成が未熟な者に、補講を行ってきた。通常の現代文明論授業にフラッシュ WEB 教材を適用する事に関しては時間をかけて検討していく予定である。

また、本学においては、社会の急速な変化、受講者の多様化などに対応することが必要となってきた。次年度以降、このニーズに応えるべく、多様な講義区分と題目も視野に入れ、授業編成を行ってゆく予定である。

9) メディア情報センター運営委員会

- ・目的 本学のメディア情報学習の支援・推進に関する次の事項について審議する。
 - (1) 予算の編成ならびに実施に関すること。
 - (2) 施設、設備の管理・整備・運用に関する基本的事項に関すること。
 - (3) 諸事業の企画並びに運営に関すること。
 - (4) その他、本委員会に関する運営上の基本的事項に関すること。
- ・委員構成
委員長 西野 仁 学長
委員 八尋剛規、矢原充敏、宮川幹平、秋山英二、山本真由美、久田秀子、塘 将典
- ・内容 本学情報環境全般の基本システムの維持管理及び運用支援に関する事項、教材の web 化推進のための開発環境の整備及び開発支援、図書・e-Learning 教材など学習資源の蓄積・管理・運用に関する事項、メディア情報センターの管理運営・企画に関する事務または技術全般に関する事項について審議した。

また、エクステンションセンター福岡講座「東海カルチャートーク」の実施についても審議した。
- ・今後の課題 2011年度に大幅なコンピュータ実習室の機器更新（リース）を行う予定であり、リース内容の見直しなどを視野に入れて運用していく必要がある。また、2011年度入学生より、学生貸し出し用ノート PC を全学生に貸与することとなり、この管理についても十分に詰める必要がある。図書館システムの更新も 2011年度予定されていることから、システム更新に向けてセンターとしての取りまとめを行う必要がある。

10) 広報・入試委員会

- ・目的
 - (1) 広報・入試の基本計画及び運営に関すること
 - (2) 広報・入試に関する各種資料の収集・調査分析に関すること
 - (3) 広報・入試に関する印刷出版物等の企画・立案に関すること
 - (4) その他、本委員会において必要と認めた事項
- ・委員構成
委員長 真下 仁
委員 伊津信之介、佐竹則昭、伊原奉賢、竹内裕二、八尋剛規、秋山英二、香月康則
- ・内容 次年度入試企画の他、広報に関しては、パンフレット作成、オープンキャンパス（学校見学会を含む）企画、高校訪問、広報ツール作成等を行ったが、特に、本学を外部にアピールするために、入試広報委員を中心に、学内全体が一丸となって高校訪問を実施する体制を整えて、より多くの高校の先生方や高校生に本学の存在を理解していただくように努めた。また、東海大学本体の認知度の向上も視野に入れながら、今まで手薄であった、新聞、電車の中吊り、地域の広報誌等にも積極的に広告を載せ、地域に本学を周知させる広

報を行った。

- ・ **今後の課題** 本学の運営上重要な委員会のため、答申だけではなく実行組織としての活動も求められた。企画立案に止まらず、企画実施後の検証を入学者数に反映できることが当面の課題となった。また、厳しい学生募集を反映して入試企画内容についても従来の方法を再検討する時期にきていることから、入試データ分析やオープンキャンパス参加者アンケート分析などを精査し、方法論だけではなくカリキュラムや教育内容についても外部意見として提案できる組織とすることも課題となっている。

1 1) 教学委員会

- ・ **目的** 本学の教務に関する事項を審議するとともに、本学学生が健全で充実した学生生活を送れるよう、これに関する事項を審議することを目的とする。また、教育システムの変化に適応した規則等の変更と整理を行ない、教育現場に齟齬を起ささないように対処することも目的の一つとしている。
- ・ **委員構成**
 - 委員長 矢原充敏
 - 委員 赤井ひさ子、末松泰子、大方優子、北濱幹士、秋山英二、森田博文、西村真紀子、古川智絵美、山本健一
- ・ **内容** 教務と学生の審議事項が多岐に渡るため、5種類の部会に分け、詳細は部会で協議することとなった。教務系では、カリキュラム・時間割の検証、履修登録制度、GPA制度、授業運用等を審議し、2010年度よりGPA制度の変更と授業運用について、出欠・遅刻・授業中の行為の基本ルールを定め、学生に提示した。学生系では、行事、車両通学、喫煙マナー、学生状況を常に審議し、2011年度からの全面禁煙に向けて調整した。
- ・ **今後の課題** 上記でも述べたように、審議事項が多岐に渡るため、委員会の開催時間が2時間を越えることが少なくなく、委員会に提案するまでの部会開催など、委員への負担も大きい。夏期休暇や冬期・春期休暇中でも協議していかなければ処理できないのが現状である。しかし、委員会の性格上、授業運営・学生生活について、最も重要な事項を審議する場であるので、今後は数年後の本学の改組を鑑み、他大学の現状も把握しながら履修モデルや授業科目の設定などを協議していかなければならないことから、本学の教育方針を見直ししていくこととなった。

1 2) 進路委員会

- ・ **目的** 本学学生の就職及び進路指導に関する事項を審議することを目的とする。
- ・ **委員構成**
 - 委員長 神山高行
 - 委員 斎藤守正、宮内 順、徳永克美、宮川幹平、秋山英二、山本真由美
- ・ **内容** 主に次の内容を協議した。
 - (1) 進路状況の動向調査
 - (2) 両学科共通科目の「進路対策 I・II・III」の実施計画及び次年度以降の検討
 - (3) 企業実習の企画立案
 - (4) 学園内推薦編入学に関する推薦候補者の指導
 - (5) 進路指導体制の構築に関する立案
 - (6) その他、進路に関するガイダンス・講座等の企画運営及び調査研究
- ・ **今後の課題** 本学の運営上重要な内容を協議する委員会のため、答申だけではなく実行組織としての活動も求められた。企画立案に止まらず、企画の即効性や実効性を図った。また、厳しい就職状況を反映して企画内容についても従来の方法を再検討する時期にきていることから、進路状況の動向を調査し、指導対策の改善が課題となっている。

1 3) 人権啓発委員会

- ・ **目的** 本学における基本的人権に関する意識の高揚を計るとともに、学生及び教職員が健全な社会の構築に寄与することを目的とする。
- ・ **委員構成**

- 委員長 西野 仁 学長
- 委員 真下 仁、矢原充敏、秋山英二（必要に応じて教職員を選出）
- ・内 容 県内や市内で開催された人権研修会に参加し、人権に関する意識の高揚を図ることや学内への啓蒙を図った。
- ・今後の課題 人権の尊重は、多様化が進む社会での重要課題である。さらに啓蒙に努力しなければならない。

14) セクシャルハラスメント人権委員会

- ・目 的 本学におけるセクシュアル・ハラスメント防止と被害者を救済することを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 西野 仁 学長
 - 委員 真下 仁、矢原充敏、秋山英二（必要に応じて教職員を選出）
- ・内 容 教学上（教育、研究及び課外活動を含む学生生活）、業務上等の関係を利用してなされる、次にあたる行為がないか審議した。
 - (1) 性的要求への服従又は拒否を理由に利益又は不利益に影響を与えること。
 - (2) 利益又は不利益を条件として性的誘いかけをなし、又は、性的に好意的な態度を要求すること。
 - (3) 性的言動、掲示等により不快の念を抱かせるような環境を作り出すこと。
- ・今後の課題 セクシュアル・ハラスメントの問題は、被害者が表に出さない限り表面化することが少ないため、審議事項が出ることがない。今後は、相談員や関係者等からの事情聴取などを定期的に行う。

15) 危機対策委員会

- ・目 的 学校法人東海大学危機管理委員会と協力して、事件・事故を未然に防ぐよう教職員へ危機管理に関する啓蒙を行い、また防止策を検討し実施すること。
- ・委員構成
 - 委員長 西野 仁 学長
 - 委員 真下 仁、矢原充敏、秋山英二（必要に応じて教職員を選出）
- ・内 容 本学が関わるすべての事項に関して、事故の未然防止や活動の啓蒙について話し合った。特にセクハラやアカハラは社会的にも問題になっている背景があることから、教授会を通じて誤解されない言動についても周知徹底を図った。
- ・今後の課題 本学役職者が委員として運営しているため、管理運営上における意思統一や指示命令系統は整理されている。しかし、今後予測される問題への調査や防止策については、積極的な展開ができず、学園からの指示や啓蒙に頼っていることから各種委員会との連携を強化し、問題の早期発見に努めることが課題となっている。

16) 安全衛生委員会

- ・目 的 関係法令及び学校法人東海大学安全衛生規程に基づき、東海大学福岡短期大学教職員の安全及び健康を確保するとともに、快適な職場環境の形成を促進することを目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 西野 仁 学長
 - 委員 真下 仁、矢原充敏、秋山英二（必要に応じて教職員を選出）
- ・内 容 教職員の安全及び健康の確保については、常に企画調整会議や健康推進室を中心に周知徹底された。
- ・今後の課題 小規模組織のため、管理運営上における意思統一や指示命令系統は整理されている。しかし、今後予測される問題への調査や防止策については、積極的な展開ができず、学園からの指示や啓蒙に頼っていることから、委員会が自主的に活動できる体制にすることが課題となっている。

(2) 校舎間委員会

1) 校舎間連絡会議

- ・目的 福岡キャンパスとしての認識を再確認するとともに、現状を把握し、互いに協力していくことを主たる目的とする。
- ・委員構成
 - 委員長 西野 仁 福岡短期大学学長
 - 委員 (短大) 真下 仁 学長補佐 (国際文化学科主任兼務)、矢原充敏 情報処理科主任
秋山英二 事務室長、森田博文 事務係長
 - (五高) 武富正治 校長、森永州一 副校長、石井一視 教頭、
辛島久樹事務長 (望星高校福岡校、自由ヶ丘幼稚園兼務)
 - (望星) 福島敏満 教務主任
 - (自幼) 庄司暢道 園長
- ・内容 各校舎より学年暦、行事、広報活動、一貫教育、危機管理、将来構想などを中心に協議され、様々なイベント等に協力して参加できる体制作りを目指した。また、今後の受験者増を視野に入れた教育改革に向けて意見交換を行った。
なお、本会議の提案により福岡キャンパス全機関合同で園遊会を開催することとなった。
- ・今後の課題 今後のキャンパスの活性化に向けて、行事の一本化や教職員の交流を活発化させる課題があるが、年々各機関とも学校運営を優先させるため継続的な審議となっている。また、一貫教育を中心とした行動活動ができないか、今後検討が必要である。

2) 一貫教育推進委員会

- ・目的 付属第五高校や望星高校福岡校との高大連携に関する事項を調査研究し、答申すること。
- ・委員構成
 - 委員長 矢原充敏
 - 委員 真下 仁、香月康則
- ・内容 付属第五高校における付属推薦決定者に対する事前学習、現代文明論講義等を主とする教育連携についてその都度協議を行い、答申した。
- ・今後の課題 法人の一貫教育委員会のテーマとは別に、基礎学力低下問題や目的意識の不透明化などが共通した課題であることから、より多くの意見交換を行う場を設け、福岡キャンパスが一体となった取組と活用方法が当面の課題となった。

3. 事務組織

(1) 職員数

2010年5月1日現在

区 分	事務職員			技術職員			臨時職員			計			
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
事務室	4	5	9	0	0	0	0	1	1	4	6	10	
メディア情報センター	1	0	1	1	0	1	0	0	0	2	0	2	兼務者1
健康推進室	1	0	1	0	1	1	0	0	0	1	1	2	兼務者1
計	6	5	11	1	1	2	0	1	1	7	7	14	兼務者2

(2) 職員名簿 (臨時職員を除く)

所属	役職・職能資格		氏名	法人採用 年月日	福岡短期大学 発令年月日	現職 発令年月日	備考		
事務室	事務室	室長	副参事	秋山 英二	1975.4.1	2010.4.1	2010.4.1		
		係長	主事	香月 康則	1988.4.1	2001.4.1	2005.4.1		
		係長	主事	森田 博文	1987.4.1	2003.4.1	2005.4.1		
		係長	副主事	山本 真由美	1975.4.1	1996.4.1	2008.4.1		
			副主事	西村 真紀子	1987.4.1	1997.4.1	2009.4.1		
			副主事	芳賀 里美	1981.4.1	2005.4.1	2010.4.1		
			主査	久田 秀子	1970.4.1	1990.4.1	2004.4.1		
			職員1級	山下 真里	2005.4.1	2007.4.1	2010.4.1		
メディア 情報 センター	メディア情報センター	所長	教授	西野 仁	1978.4.1	2010.4.1	2010.4.1		
		付	准教授	宮川 幹平	2003.5.1	2003.4.1	2004.4.1		
	管理企画室	室長	副参事	秋山 英二	1975.4.1	2010.4.1	2010.4.1	兼務	
	ラーニングリソースラボ	室長	教授	矢原 充敏	1993.4.1	1993.4.1	2009.4.1		
	情報システム室	室長	准教授	八尋 剛規	1992.4.1	1992.4.1	2004.4.1		
			特任技術職員	塘 将典	2005.4.1	2005.4.1	2005.4.1		
	健康推進室	健康推進室	室長	副参事	秋山 英二	1975.4.1	2010.4.1	2010.4.1	兼務
				中級保健技術職員	古川智絵美	1999.4.1	1999.4.1	2009.4.1	

(3) 教職員の研修等

NO	期間	研修会名称	開催場所	出席者名
1	4/23	平成22年度大学・専修学校等就職指導担当者と企業との意見交換会	博多ホテル3階「孔雀の間」	秋山 英二
2	4/23	4/23就職担当者と企業との意見交換会・名利交換会	博多都ホテル	山本 真由美
3	4/27	大学支援事業公募要領等説明会	メルパルク大阪	真下 仁
4	4/27	平成22年度 国公立大学を通じた大学教育改革の支援事業の公募要領等説明会	メルパルク大阪	竹内 裕二
5	6/18	福岡地区短期大学学生部懇談会	九州造形短期大学	森田 博文、山本 健一
6	5/27	セクシュアルハラスメント防止対策セミナー	博多パークホテル	秋山 英二
7	5/29	救命講習会	宗像地区消防本部	北濱 幹士、山本 健一
8	6/28	国内旅行業務取扱管理者試験対策講座説明会	東海大学熊本校舎	宮内 順
9	6/22	私学共済事務担当者連絡会	福岡ガーデンパレス	芳賀 里美
10	6/29	パワーハラスメント防止対策セミナー	博多パークホテル	秋山 英二
11	6/11	福岡市近郊私立短期大学懇話会	福岡ガーデンパレス	西野 仁、真下 仁
12	7/1or7/2	平成22年度私立大学等経常費補助金事務担当者研修会	福岡大学	秋山 英二、西村 真紀子、山下 真里、山本 真由美
13	6/18	互助共済年金制度代議員会	代々木校舎	伊津 信之介
14	6/23	大学生の交通事故防止懇話会	福岡教育大学 事務局1階第一会議室	山本 健一
15	6/28	宗像市男女共同参画推進懇話会	メイトム宗像	真下 仁
16	8/18-19	FD/SD合同宿泊研修会	長崎全日空ホテルグラバービル	八尋 剛規、チョウ アンナ、神山 高行、山下 真里、福田 富美、真下 仁、宮川 幹平、香月 康則
17	8/18-19	2010年度学校法人東海大学経理研修会	学校法人東海大学(代々木校舎)	秋山 英二
18	7/26-29	2010年度資格等級別研修(管理者研修)	法人本部(代々木校舎)	秋山 英二
19	8/31	日商PC検定試験指導者向け説明会	福岡商工会議所	矢原 充敏
20	10/22	学生教育研究災害障害保険等説明会	福岡東京海上日動ビル 10階 大会議室	山本 健一
21	7/17	北斗の水くみ写真展撮影説明会	道の駅むなかた	伊津 信之介
22	9/2	第36回福岡県私立短期大学教務担当者連絡会	筑紫女学園大学短期大学部	西村 真紀子
23	8/19-8/21	現代文明論研究センター研究会	望星学塾	伊津 信之介
24	9/13-14	短期大学コンソーシアム九州:「社会人基礎力養成のための合同宿泊研修」	グローバルアリーナ	真下 仁
25	8/27	就職担当者連絡協議会「夏期研修会」	九州造形短期大学	山本 真由美
26	9/13-14	短期大学コンソーシアム九州社会人基礎講座2010	グローバルアリーナ	北濱 幹士
27	8/26	福岡県・佐賀県大学図書館協議会北部地区研究会目録講習会	九州共立大学 第2学舎	久田 秀子
28	9/1-3	平成22年度「私立短大就職担当者研修会」	ANAクラウンプラザホテル神戸	山本 真由美
29	8/27	宗像市男女共同参画懇話会出席	宗像市役所	真下 仁
30	9/13	社会人基礎講座合同宿泊研修会	グローバルアリーナ	大方 優子、福田 富美
31	9/13	平成22年度九州地区私立短期大学協会教職員研修会	九州会館「福岡ガーデンパレス」	宮川 幹平
32	9/30	宗像地区犯罪被害者支援協議会分科会	宗像警察署	森田 博文
33	10/1	平成22年度著作権セミナー	メルパルク熊本	久田 秀子
34	11/12-14	平成22年度九州地区大学体育協議会体育系学生リーダーズ・トレーニング	国立阿蘇青少年交流の家	北濱 幹士
35	10/22	平成22年度学生教育研究災害傷害保険等説明会	福岡東京海上日動ビル10階大会議室	森田 博文
36	11/24	東海大学九州地区企業懇談会	熊本全日空ホテルニュースカイ	山本 真由美
37	11/16	年末調整説明会	宗像ユリックス	芳賀 里美
38	11/16	宗像市男女共同参画推進懇話会	宗像市役所	真下 仁
39	11/12-14	九州地区大学体育協議会リーダーズ・トレーニング	国立阿蘇青少年交流の家	森田 博文
40	11/24	東海大学九州地区企業懇談会	熊本全日空ホテルニュースカイ	山本 真由美
41	11/26	就職担当者連絡協議会情報交換会	九州造形短期大学	山本 真由美
42	11/17	平成22年度福岡県・佐賀県大学図書館協議会 福岡地区研究会(出席)	福岡大学	久田 秀子
43	12/4	文部科学省GPシンポジウムに出席	名古屋学院大学	真下 仁、神山 高行
44	12/10	福岡県私立短期大学連絡協議会	福岡ガーデンパレス	真下 仁
45	12/21	宗像市人権講演会	宗像ユリックス・ハーモニーホール	秋山 英二
46	12/9	事業主のための人権セミナー	福岡リーセントホテル	秋山 英二
47	12/17	平成22年度近郊短期大学事務懇親会	福岡ガーデンパレス	山本 真由美
48	12/25	現代文明論研究センター研究会	代々木校舎	伊津 新之介
49	12/24	第29回短期大学の将来構想に関する研究会	精華女子短期大学	宮川 幹平、福田 富美、神山 高行、佐竹 則昭、末松 泰子、真下 仁
50	2/28	学生等の薬物乱用防止のための教職員研修会	KKRホテル博多	古川 智絵美
51	2/10	男女共同参画推進懇話会に出席	宗像市役所	真下 仁
52	2/7	ミュージアム研究会第7回研修会	箱崎水族館	伊津 信之介
53	3/1	障害のある学生支援のための情報交換会	福岡教育大学 共通講義棟	古川 智絵美
54	2/17	平成22年度奨学業務連絡協議会	九州大学医学部百年講堂	森田 博文
55	3/25	ITパスポート試験 CBTリハーサル試験受験のため	Winスクール 福岡天神校	宮川 幹平

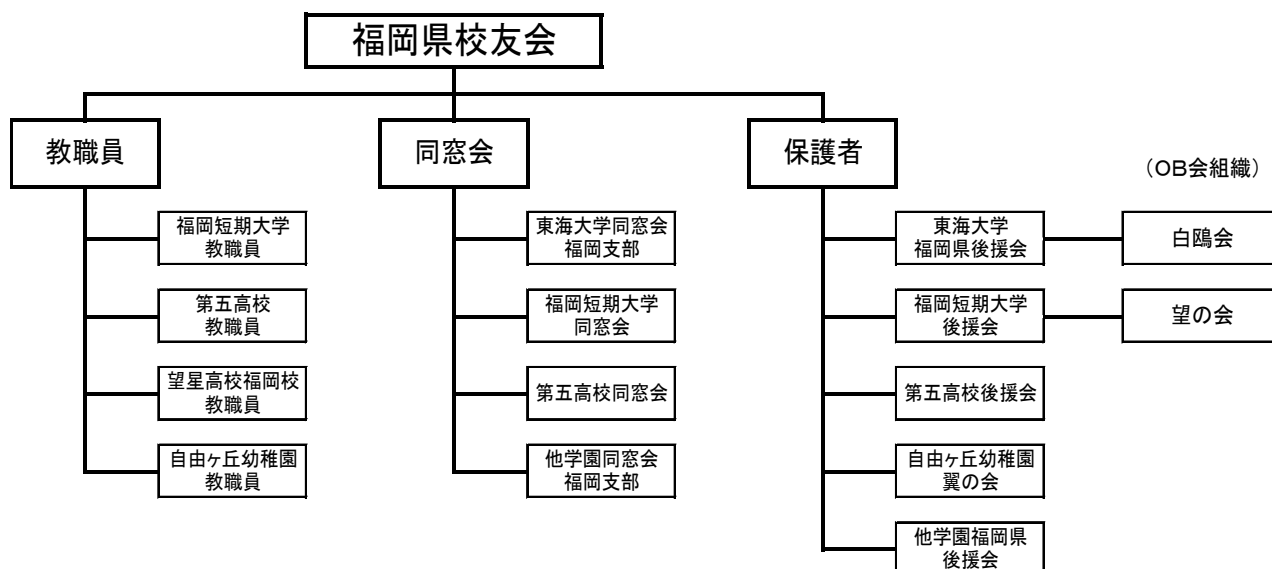
4. 校友会組織

(1) 福岡県校友会

校友会とは、学園各教育機関（本学および東海大学、東海大学短期大学部（高輪・静岡）、東海大学医療短期大学、附属諸学校）の後援会（PTA含む）、同窓会、および後援会のOBで組織する望の会や白鷗会等の会員と教職員で構成し、会員相互の友好と親睦を深め、東海大学学園の発展並びに社会的活動の推進に寄与することを目的としている。

福岡県校友会は、以下の組織の役員と会員をもって構成し、本学からは、同窓会、後援会、望の会が所属している。なお、代表幹事には、東海大学同窓会福岡支部長で同窓会九州ブロック会長の木田文武氏が就任、事務局長には附属第五高校事務長の辛島久樹氏が務めている。

福岡県校友会組織図



(2) 同窓会

卒業生をもって組織し、会員相互の親睦を図り、会の運営を通じて社会に貢献し、併せて母校の発展に寄与することを目的としている。

活動の中心は、総会であり隔年で開催している。例年、入学式、学位授与式に来賓として参列し、校友会のイベントにも積極的に参加している。特に本学学生が参加した24時間EKIDENには、福岡県校友会の一員として学生のバックアップはもとより、役員自らもランナーとして参加した。

建学祭においては、役員による模擬店を出店し、当日参加した同窓生の交流の場となっている。2010年度は初めて北九州市で総会を開催したが、出席者はそれほど伸びなかった。今後は、総会・懇親会の開催日程・場所、企画運営の改善と、様々なイベントに同窓生が参加していただけるような組織にしていかなければならない。また卒業記念パーティーで新会員を紹介するため、役員を選出にも積極的な動きを見せるようになった。卒業記念パーティーでは、卒業生に対して祝辞を述べた。

今年度も同窓会会報「何しよう？」第12号を発行（毎年1回）し、会員相互交流の一助を担っている。第8号より新聞形式で学園全体の情報も織り交ぜながらの発刊となっている。

・役員

会 長	久 峯 直哉	(1991年度情報処理学科卒：1期生)
副会長	白 川 良子	(1998年度情報処理学科卒：8期生)
総務・会計	林 田 勝博	(1994年度情報処理学科卒：4期生)
総 務	大 淵 義弘	(2002年度情報処理学科卒：12期生)
	細川潤一郎	(2002年度国際文化学科卒：12期生)
監 査	吉田智恵子	(2000年度情報処理学科卒：10期生)
	中野 佑美	(2007年度国際文化学科卒：17期生)
幹 事	栞 寄 博之	(1991年度情報処理学科卒：1期生)

摩嶋 昌代 (1998年度情報処理学科卒：8期生)
 北野 直人 (1999年度情報処理学科卒：9期生)
 田中 裕子 (2003年度情報処理学科卒：13期生)
 内田 美鈴 (2005年度情報処理学科卒：15期生)
 宮原佳菜子 (2005年度国際文化学科卒：15期生)
 大庭信太郎 (2006年度情報処理学科卒：16期生)
 磨井 知穂 (2006年度国際文化学科卒：16期生)
 樋口 祐哉 (2007年度情報処理学科卒：17期生)
 吉武 元樹 (2008年度情報処理学科卒：18期生)
 山田麻眞子 (2008年度国際文化学科卒：18期生)
 有馬 千明 (2009年度国際文化学科卒：19期生)
 高田 香苗 (2009年度国際文化学科卒：19期生)

事務局長 森田 博文 (福岡短期大学事務室)

(3) 後援会

本会は本学在学生の保護者をもって組織し、本学と後援会との密接な連絡により、相互の親睦を深め、本学の発展と向上を計ることを目的として、2か月に1回のペースで役員会を行い、9月初旬に総会を開催した。

また、在籍者の多い九州山口地区は各県に支部を設け、独自で地区後援会を開催している。その他本学の入学式・卒業証書授与式等主要行事に役員が出席し、祝辞を述べている。

なお、昨年に引続き、学園祭への資金援助だけではなく、学生行事の理解を深め協力すること及び保護者の参加促進を目的とし、建学祭に模擬店(喫茶夢僚)参加した。今後共こうした活動を通じて保護者の大学理解を促進することも大切な活動との認識を深めることができた。

・役員

顧問	池田 弘	(望の会会長)
会長	山下 晴路	(情報処理卒業生保護者)
副会長	田中賀由里	(情報処理卒業生保護者)
副会長	阿部 千秋	(国際文化卒業生保護者)
副会長	高崎喜美恵	(国際文化2年生保護者)
事務局長	日南休弘美	(国際文化2年生保護者)
会計	山崎 裕子	(国際文化2年生保護者)
会計	栗木妥会子	(情報処理1年生保護者)
監査	水野美佐子	(国際文化1年生保護者)
監査	吉武 律子	(国際文化1年生保護者)

・役員連絡会

本学園三短大三校舎の各後援会の結集体として、秋(10月第1土曜日)に連絡会を開催している。本年度は医療技術短期大学の後援会が担当し、連絡会を神奈川で開催した。連絡会の副会長に本学後援会会長が選任されている。

総会参加 池田弘(顧問)、山下晴路(会長)、田中賀由里(副会長)、阿部 千秋(副会長)、高崎喜美恵(副会長)、日南休弘美(事務局長)、山崎裕子(会計)、栗木妥会子(会計)、水野美佐子(監査)、吉武律子(監査)、西野仁(学長)、秋山英二(事務室長)、香月康則(事務室係長)

(4) 望の会

本学卒業生の保護者を会員として相互の親睦と本学の発展に寄与することを目的として毎年11月に総会を開催している。

なお、望の会と後援会は表裏一体の関係であるとの認識を確認し、後援会活動に出来る限り参加した。2004年度より後援会役員会に顧問としての参加することとなり、会員同士の懇親と後援会及び短大教職員との交流を目的に親睦旅行を今年度は5月に実施した。

また、校友会などを通じて他団体との懇親を深めることも行った。更に2006年2月からは社会奉仕

の一環として赤間駅周辺清掃活動を開始する等、活動の活性化を図っている。

・2009・2010年度役員（任期・2ヶ年）

顧問 堤田 賢一（91年度卒業生保護者）
 相談役 藤井 恒亮、瓜生 幸雄、花田 正善、平河 哲、福間 弘祐、富永 英暉、山口 泰秀、
 的場 重徳（91年度卒業生保護者）、安武 信之（92年度卒業生保護者）
 会長 池田 弘（95年度卒業生保護者）
 副会長 土師 紀生（94年度卒業生保護者）、大淵 茂樹（93年度卒業生保護者）
 事務局長 藤村 卓郎（02年度卒業生保護者）
 理事 久保田 喬、椛田 藤枝（92年度卒業生保護者）
 倉敷 正子（93年度卒業生保護者）、山西 敏夫（96年度卒業生保護者）
 石田 基志（97年度卒業生保護者）、友成 敏博（98年度卒業生保護者）
 監事 高木 靖、高田 せい子（94年度卒業生保護者）

5. 諸規程

規程名称	管理部署	制定日
学則/学則・園則		
東海大学福岡短期大学学則	事務室	1990/04/01
組織及び業務分掌/学(校・園)長会議・教授会等		
東海大学福岡短期大学教授会規程	事務室	1990/04/01
組織及び業務分掌/大学・短大付置研究所		
東海大学福岡短期大学観光文化研究所規程	事務室	1996/04/01
総務/総務・契約・調達		
東海大学福岡短期大学安全衛生規程	事務室	2009/04/01
総務/人権		
東海大学福岡短期大学人権啓発委員会規程	事務室	1996/04/01
東海大学福岡短期大学個人情報保護委員会規程	事務室	2005/04/01
人事/人事(任用・資格・研修・出向)		
東海大学福岡短期大学教員資格審査委員会規程	事務室	1997/04/01
東海大学福岡短期大学教員資格審査小委員会規程	事務室	2003/09/01
人事/学長・校長等選任		
東海大学福岡短期大学主任教授選任規程	事務室	1991/04/01
学務/教務・委員会(教務・運営・教育・改組改編等)		
東海大学福岡短期大学企画調整会議規程	事務室	2009/04/01
東海大学福岡短期大学教学委員会規程	事務室	2002/04/01
東海大学福岡短期大学FD委員会規程	事務室	2009/04/01
東海大学福岡短期大学教員授業担当規程運用内規	事務室	2003/04/01
学務/課程・教育センター等		
東海大学福岡短期大学メディア情報センター運営委員会規程	メディア情報センター	2002/04/01
学務/学修・教育補助		
東海大学福岡短期大学学修に関する規則	事務室	1990/04/01
学務/一貫教育・現代文明論		
東海大学福岡短期大学現代文明論委員会規程	事務室	1993/04/01
学務/学位		
東海大学福岡短期大学学位規程	事務室	2006/03/01
学務/表彰・基金・奨学金・研究奨励		
東海大学福岡短期大学奨学金規程	事務室	1995/10/01
東海大学福岡短期大学資格取得奨励奨学金に関する細則	事務室	2008/04/01

東海大学福岡短期大学沖縄県竹富町との交流協定奨学金に関する細則	事務室	2004/04/01
東海大学福岡短期大学学習奨励奨学金に関する細則	事務室	2004/04/01
東海大学福岡短期大学遠隔地奨学金に関する細則	事務室	1998/04/01
東海大学福岡短期大学付属高校特別奨励奨学金に関する細則	事務室	2001/09/01
学務/学生生活・賞罰・学塾		
東海大学福岡短期大学保健管理委員会規程	事務室	1997/04/01
東海大学福岡短期大学学生生活に関する規則	事務室	1990/04/01
東海大学福岡短期大学の学生の車両入構に関する規則	事務室	1997/09/01
学務/試験・再履修		
東海大学福岡短期大学試験に関する細則	事務室	1990/04/01
学務/科目履修生・研究生・聴講生・受託生等		
東海大学福岡短期大学科目等履修生に関する規程	事務室	1994/04/01
東海大学福岡短期大学研究生に関する規程	事務室	1990/04/01
学務/地域教養講座・公開セミナー等		
東海大学福岡短期大学エクステンションセンター福岡講座運営委員会規程	事務室	2002/04/01
学務/就職		
東海大学福岡短期大学職業紹介業務運営規程	事務室	2003/10/01
東海大学福岡短期大学職業紹介業務に係る個人情報適正管理規程	事務室	2003/10/01
東海大学福岡短期大学進路委員会規程	事務室	2002/04/01
学務/安全管理(研究・実験等)		
東海大学福岡短期大学研究活動の不正防止対策委員会規程	事務室	2007/04/01
東海大学福岡短期大学研究活動の不正に関する調査委員会規程	事務室	2007/04/01
東海大学福岡短期大学研究活動の不正告発相談窓口規程	事務室	2007/04/01
学務/大学評価		
東海大学福岡短期大学大学評価委員会規程	事務室	1992/11/01
学務/入学試験		
東海大学福岡短期大学入学者選抜関係規程	事務室	1990/04/01
東海大学福岡短期大学広報・入試委員会規程	事務室	2002/04/01
東海大学福岡短期大学入学試験運営組織及び業務分掌規程	事務室	1997/04/01
国際/国際交流・海外研修・留学生(派遣・受入等)		
東海大学福岡短期大学学生の留学に関する規程	事務室	1998/04/01
東海大学福岡短期大学国際交流委員会規程	事務室	2009/04/01
図書館/図書館(運営・図書)委員会		
東海大学福岡短期大学図書館規程	事務室	1990/04/01
図書館/資料(収集・管理)・帯出・利用		
東海大学福岡短期大学図書館資料収集・管理規程	事務室	1990/04/01
東海大学福岡短期大学図書館利用規程	事務室	1990/04/01